

# 便器洗浄ユニット施工説明書

ウォシュレット専用（4.8L 密結便器用）

- 下記便器への取付方法については、専用の施工説明書をご確認ください。
- ・住宅用システムトイレ(レストパルなど)→住宅用システムトイレの施工説明書
  - ・コンパクト多機能トイレパック→コンパクト多機能トイレパックの施工説明書
  - ・壁掛大便器セット・フラッシュタンク式→ライニング収納形フラッシュタンクの施工説明書

## 重要

施工タイプ **3** 種類から必ず 1 つ選択してください。

- 「施工の流れ」（2 ページ）を必ずご確認ください。

便器洗浄モードの設定を必ず行ってください。

- 施工手順 5：「便器洗浄モードを設定する」を必ずご確認ください。



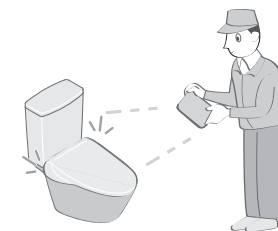
の場合

の場合

ウォシュレットとの  
組み合わせ設定が必要です。

※組み合わせ設定については、便器洗浄リモコン取付説明書をご確認ください。

- 設定しないと便器洗浄できません。



TOTO 株式会社

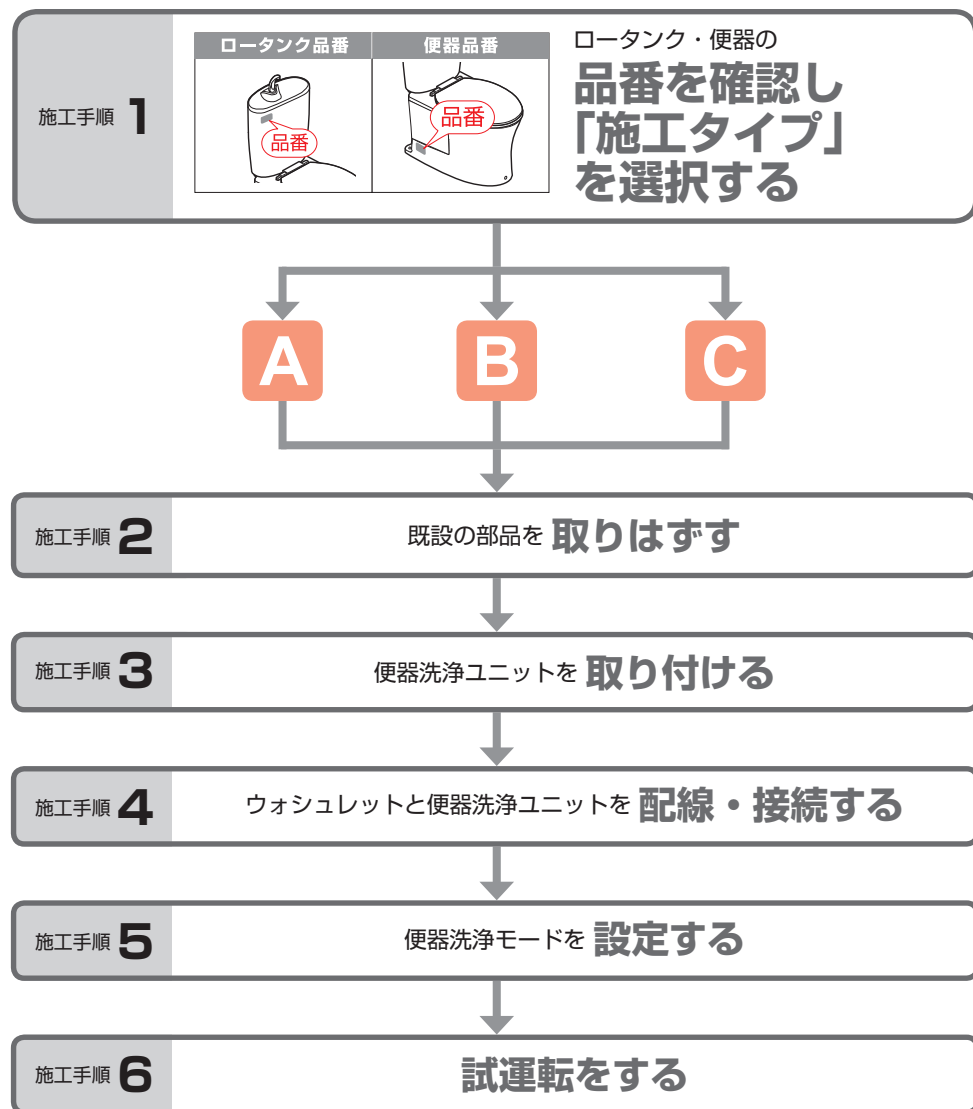
TOTO ホームページ <http://www.toto.co.jp/>



このQRコードは  
メーカー管理用です。  
2017.4.25  
D07058S

# 施工の流れ

ロータンクによって、施工タイプは3種類に分かれます。  
施工タイプに合った施工方法と部品で、正しく施工してください。



# 施工手順 1 「施工タイプ」を選択する

ロータンク・便器一覧表

ロータンク品番	便器品番	施工タイプ
SH596B 系 SH597B 系 SH332B 系 SH333B 系 SH334B 系 SH335B 系 SH330B 系 SH331B 系 SH320B 系 SH321B 系 SH230B 系 SH231B 系 SH220B 系 SH221B 系 SH214BA 系 SH215BA 系	CS597 系 CS330 系 CS320 系 CS325 系 CS230 系 CS220 系 CS215 系	<b>A</b> (P.4 へ)
SH214BAJ 系 SH215BAJ 系	CS215 系	<b>B</b> (P.5 へ)
SP496B 系	CS497 系	<b>C</b> (P.5 へ)

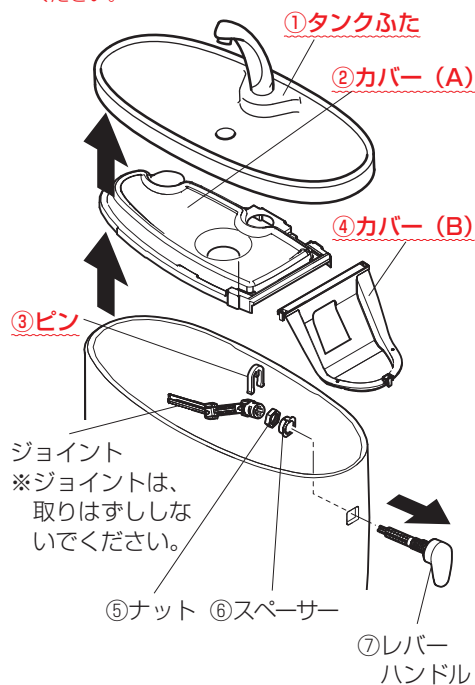
下記便器への取付方法については、専用の施工説明書をご確認ください。  
 ・住宅用システムトイレ（レストパルなど）→住宅用システムトイレの施工説明書  
 ・コンパクト多機能トイレバック→コンパクト多機能トイレバックの施工説明書  
 ・壁掛大便器セット・フラッシュタンク式→ライニング収納形フラッシュタンクの施工説明書

施工タイプ **A** のとき

- 1** 止水栓を閉めて、ロータンク内の水を抜く
- 2** 部品を取りはずす  
(下記参照)

**ご注意**  
機種によって、ロータンクと部品の形は異なります。

- ①～④の部品は、取り付け時に使用しますので、捨てないでください。



**<タンクふた固定仕様の場合>**  
タンクふたを取りはずす前に六角穴付きボルトをゆるめ、上ふた固定板のロックをはずす必要があります。

① 六角穴付きボルトを左に回し、ゆるめる  
六角棒スパナ  
六角棒スパナ (呼径4)  
※機種によってロータンクの形状が異なります。  
長い 短い  
長いほうを手で持つ

**使用工具**  
六角棒スパナ (呼径4)

六角穴付きボルトのゆるめ量  
ボルトガイド スリップワッシャー  
六角穴付きボルト ねじ山  
(固定時) (ゆるめ時)  
<ゆるめ量目安>  
六角穴付きボルトのねじ山がボルトガイドから見えるくらいを目安とする

② 六角穴付きボルトをボルトガイドに押し付け、タンクふたを垂直に持ち上げ、はずす  
ボルトガイド 六角穴付きボルト  
押し付ける

便器洗浄ユニットを取り付ける

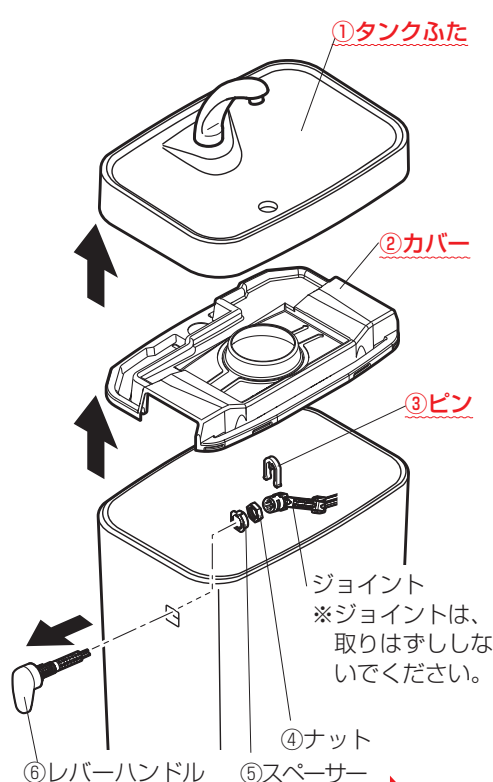
施工タイプ **A** は P.6 へ

施工タイプ **B** のとき

- 1** 止水栓を閉めて、ロータンク内の水を抜く
- 2** 部品を取りはずす  
(下記参照)

**ご注意**  
機種によって、ロータンクと部品の形は異なります。

- ①～③の部品は、取り付け時に使用しますので、捨てないでください。



便器洗浄ユニットを取り付ける

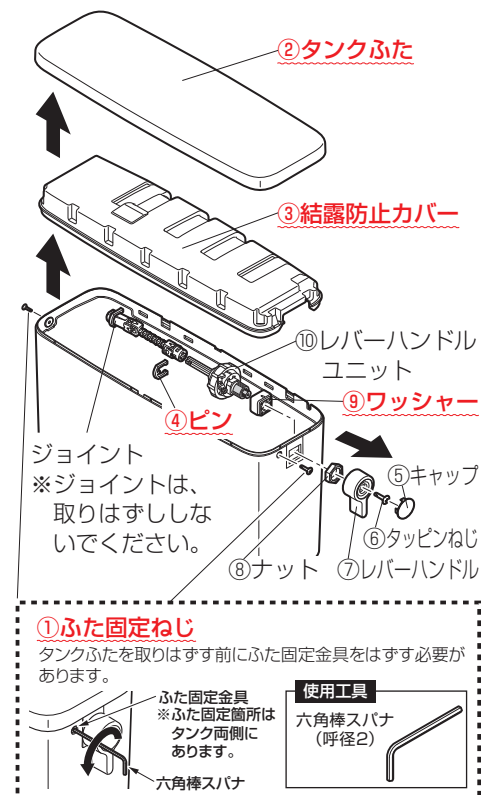
施工タイプ **B** は P.10 へ

施工タイプ **C** のとき

- 1** 止水栓を閉める
- 2** 部品を取りはずし (下記参照)、ロータンク内の水を抜く

**ご注意**  
機種によって、ロータンクと部品の形は異なります。

- ①～④、⑨の部品は、取り付け時に使用しますので、捨てないでください。



便器洗浄ユニットを取り付ける

施工タイプ **C** は P.14 へ

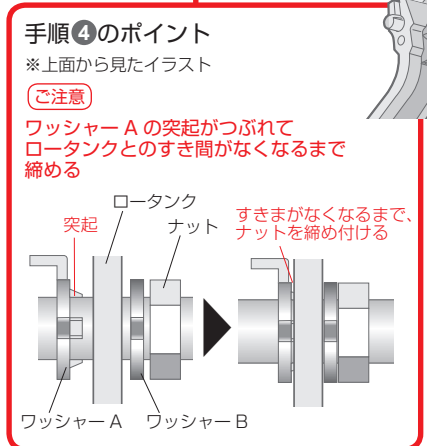
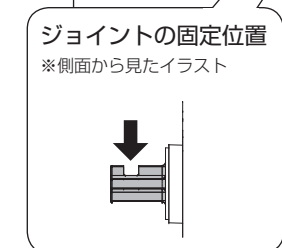
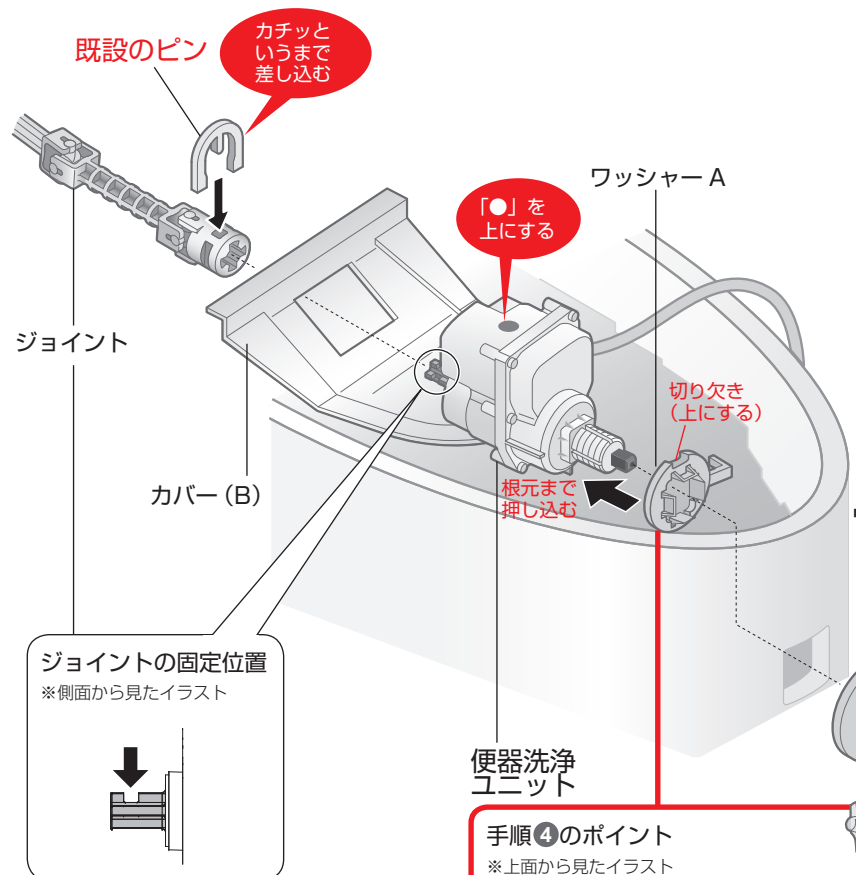
**1** 部品を選択する

**使用部品**

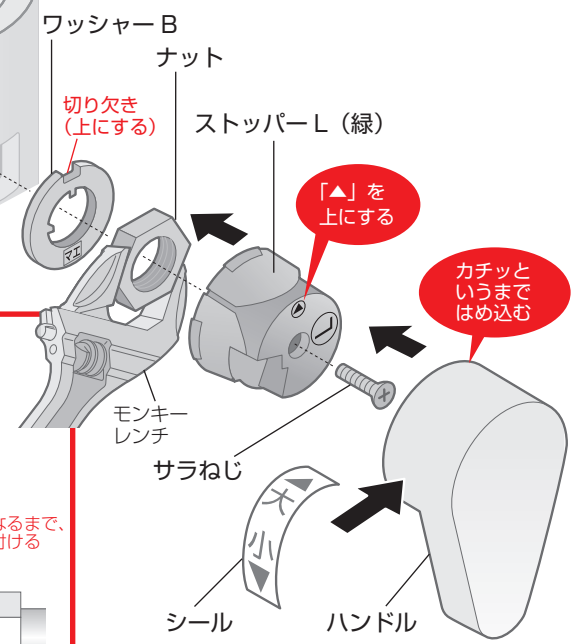

透明袋

**既設部品**

既設のピン  
既設のものを使用します。  
捨てないでください。

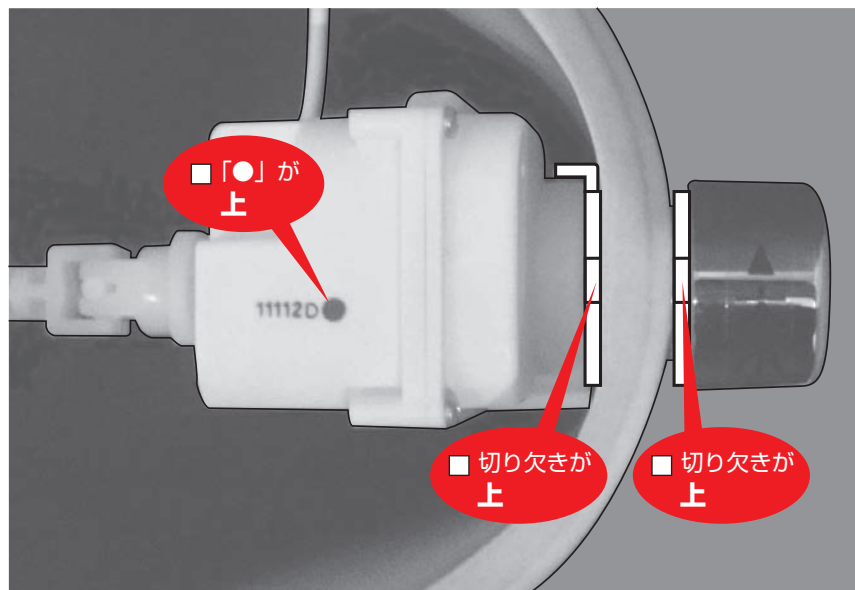


- 2** ワッシャー A をはめ込む
- 3** 便器洗浄ユニットをロータンクに差し込む
- 4** ワッシャー B をはめ、ナットをモンキーレンチで締め付ける
- 5** カバー (B) とジョイントをはめ、既設のピンで固定する
- 6** ストッパー L (緑) をサラねじで固定し、ハンドルを取り付け、シールを貼り付ける



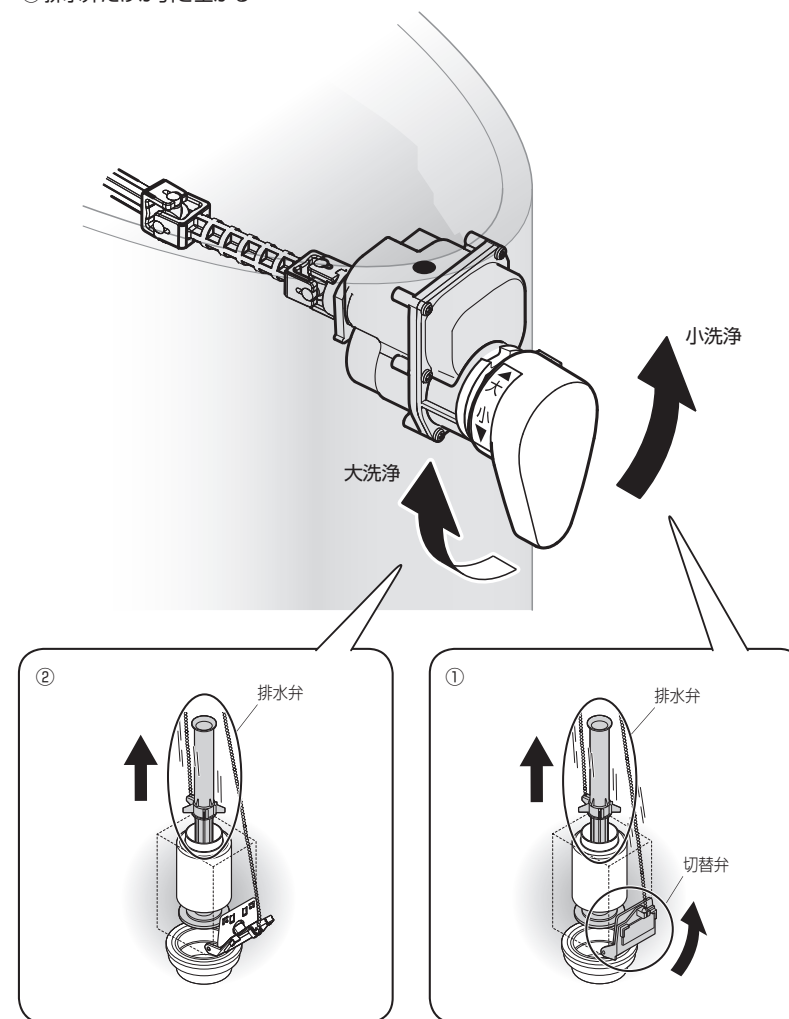
## 7 便器洗浄ユニットの取り付け状態を確認する

・下記チェック項目を確認し、□にチェックを行ってください。



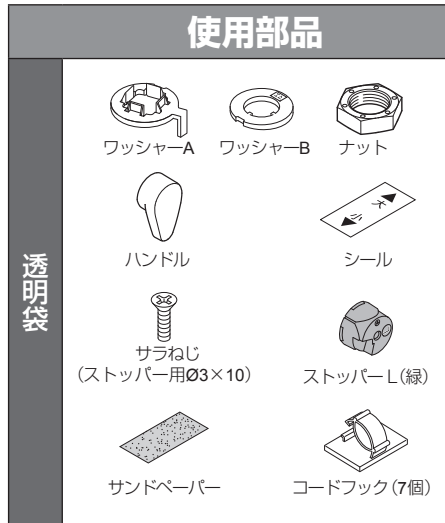
## 8 ハンドルを動かして確認する

- ① 排水弁と切替弁が引き上がる
- ② 排水弁だけが引き上がる



**1** 部品を選択する

**使用部品**



透明袋

**既設部品**



既設のピン  
既設のものを使用します。捨てないでください。

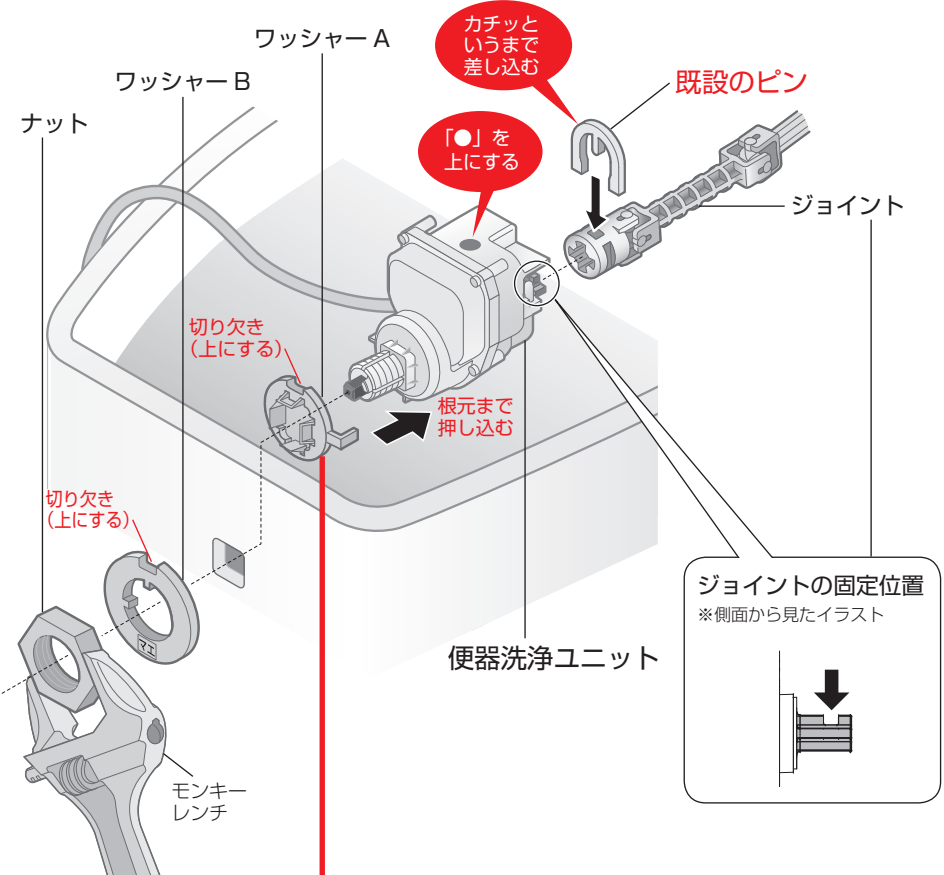
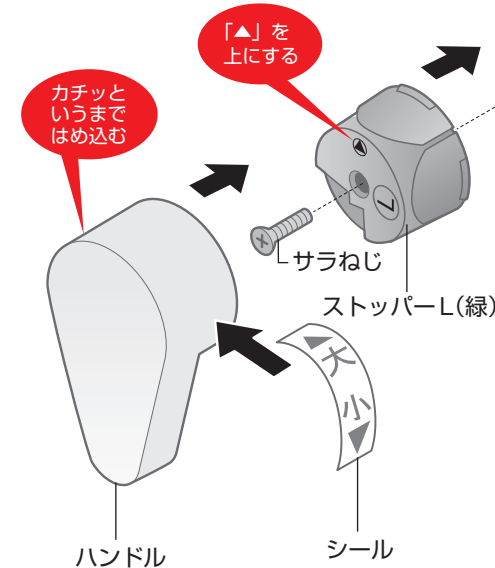
**2** ワッシャー A をはめ込む

**3** 便器洗浄ユニットをロータンクに差し込む

**4** ワッシャー B をはめ、ナットをモンキーレンチで締め付ける

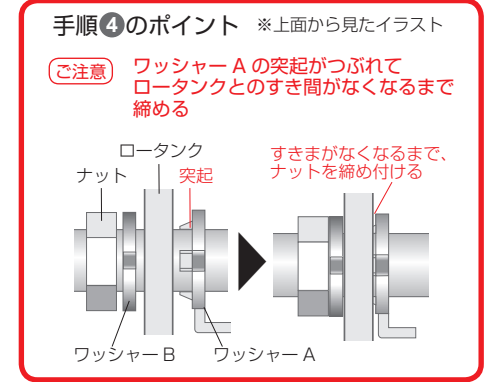
**5** ジョイントをはめ、既設のピンで固定する

**6** ストッパー L (緑) をサラねじで固定し、ハンドルを取り付け、シールを貼り付ける



**手順4のポイント** ※上から見たイラスト

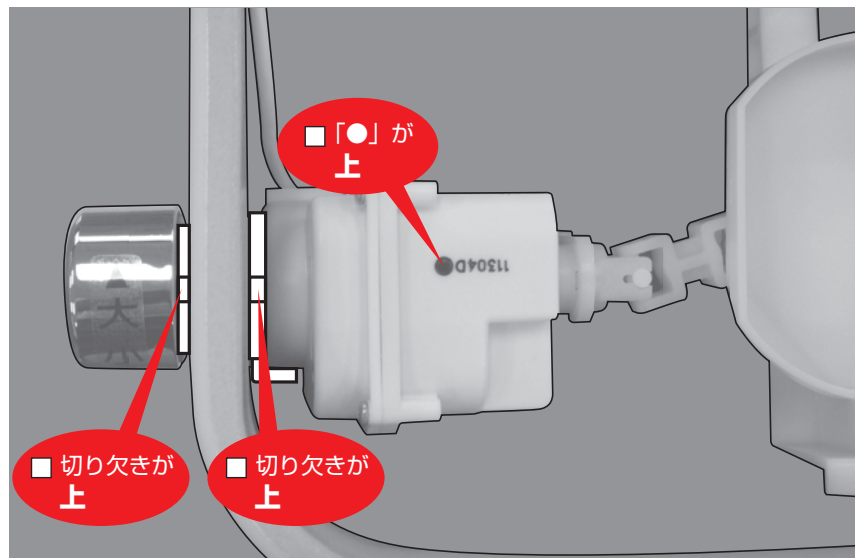
**【ご注意】** ワッシャー A の突起がつぶれてロータンクとのすき間がなくなるまで締める



ロータンク  
ナット  
突起  
すき間がなくなるまで、ナットを締め付ける  
ワッシャー B  
ワッシャー A

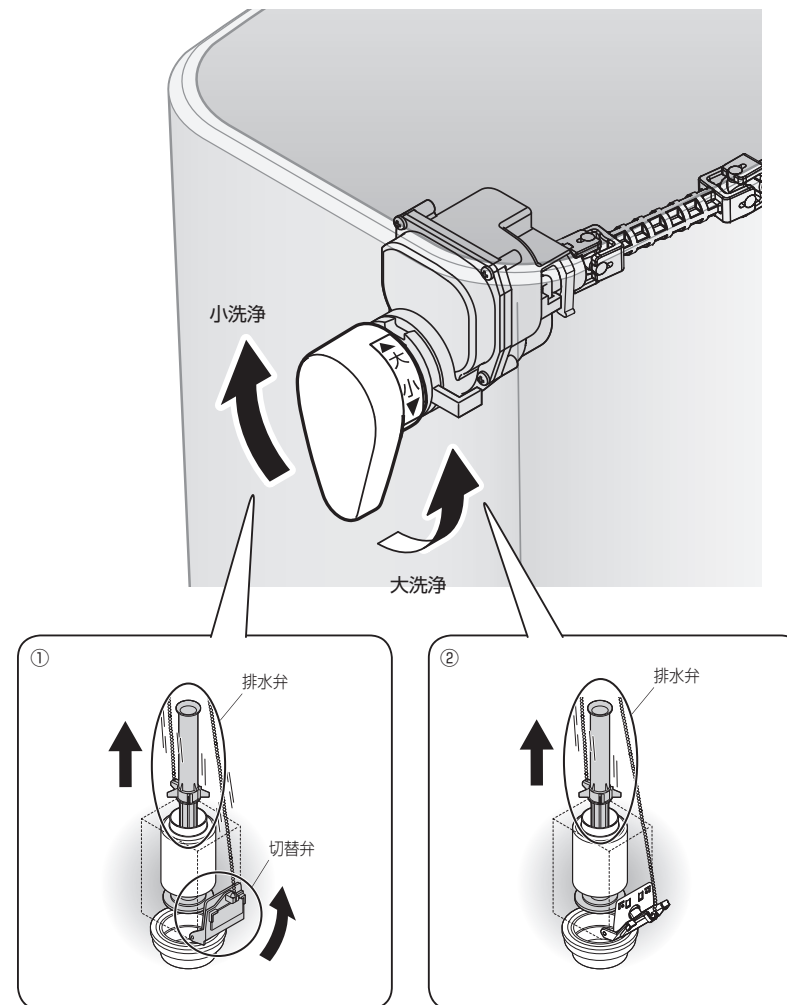
## 7 便器洗浄ユニットの取り付け状態を確認する

・下記チェック項目を確認し、□にチェックを行ってください。



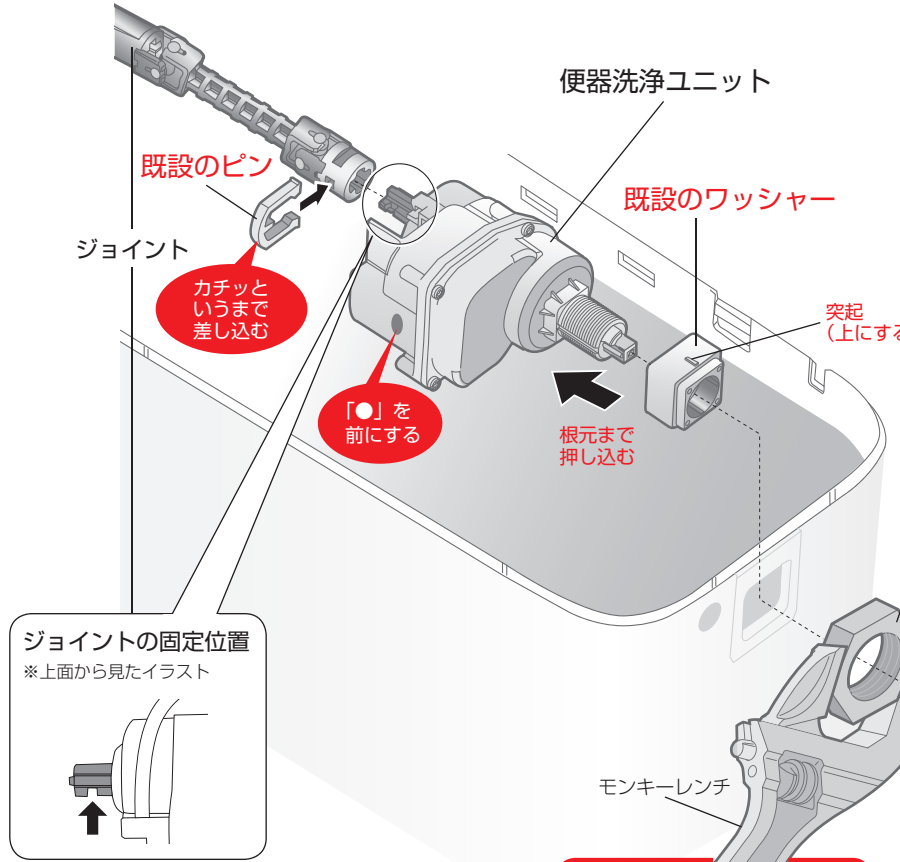
## 8 ハンドルを動かして確認する

- ① 排水弁と切替弁が引き上がる
- ② 排水弁だけが引き上がる

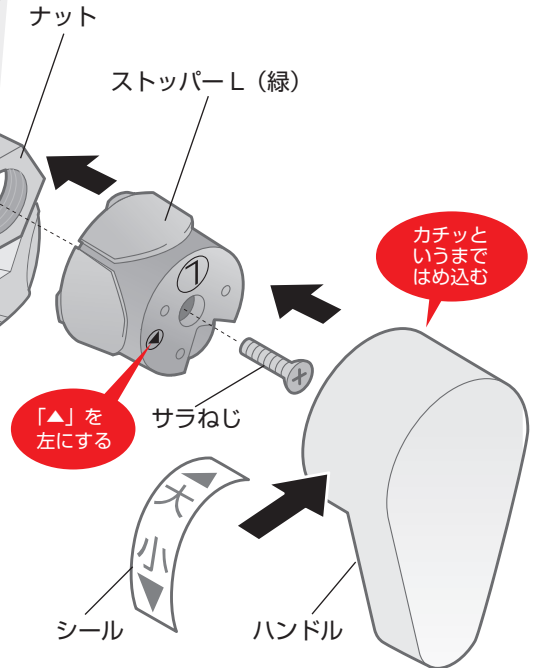
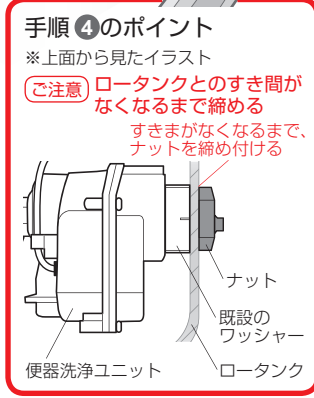
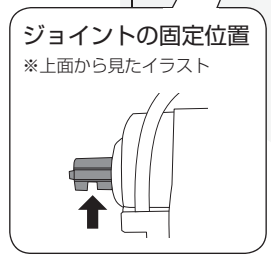


**1** 部品を選択する

使用部品	
ナット	ハンドル
サラねじ (ストッパー用φ3×10)	シール
ストッパーL(緑)	ワッシャーA
サンドペーパー	コードフック(7個)
使用しない部品	
ワッシャーB	ワッシャーC
既設部品	
既設のピン	既設のワッシャー
既設のものを使用します。捨てないでください。	



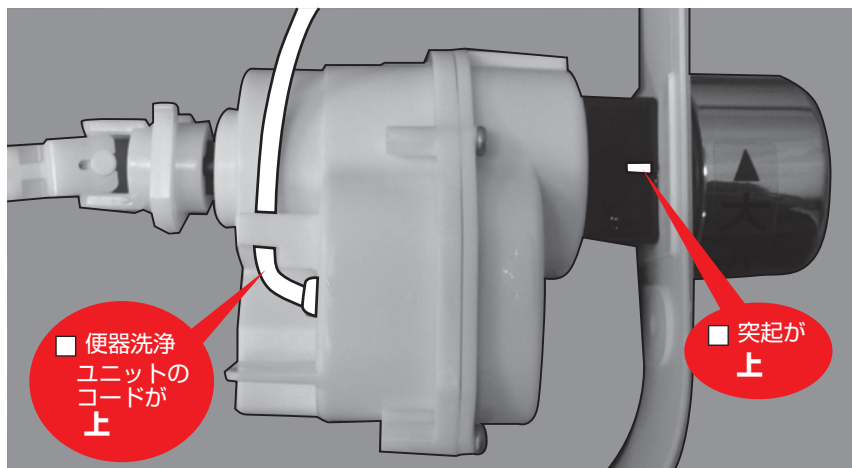
- 既設のワッシャーをはめ込む
- 便器洗浄ユニットをロータンクに差し込む
- ナットをモンキーレンチで締め付ける
- ジョイントをはめ、既設のピンで固定する
- ストッパーL(緑)をサラねじで固定し、ハンドルを取り付け、シールを貼り付ける





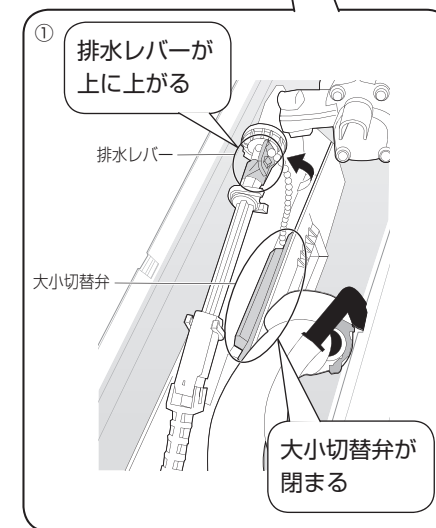
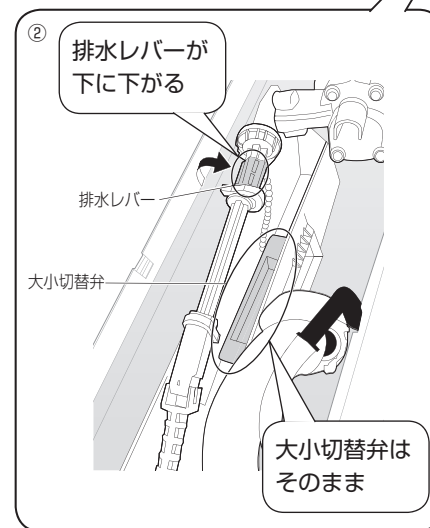
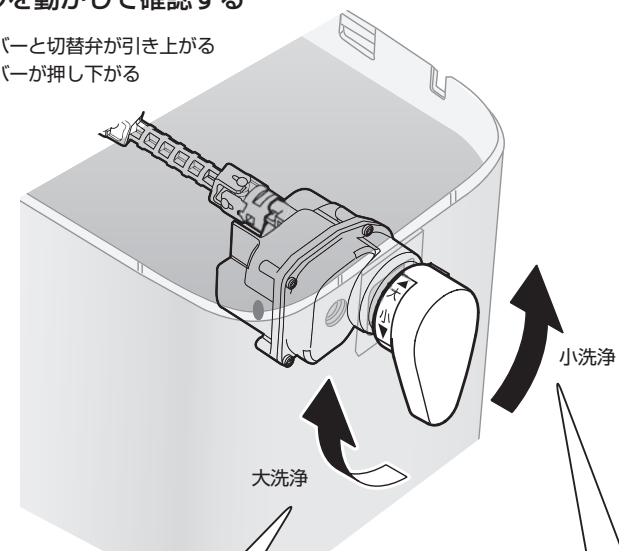
## 7 便器洗浄ユニットの取り付け状態を確認する

・下記チェック項目を確認し、□にチェックを行ってください。



## 8 ハンドルを動かして確認する

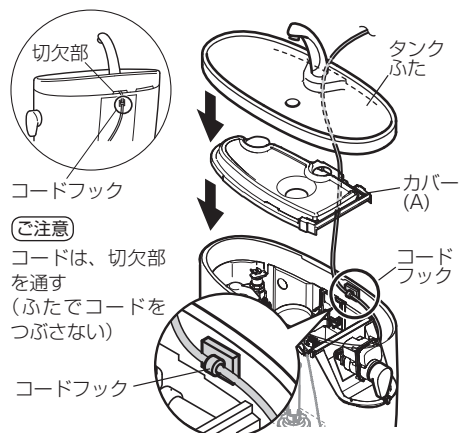
- ① 排水レバーと切替弁が引き上がる
- ② 排水レバーが押し下がる



# 配線・接続する

コードを配線する

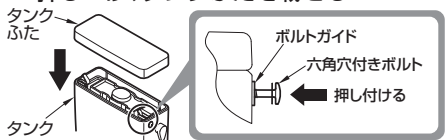
施工タイプ **A**



- 1 コードフックの貼り付け位置を決める(水がかからない位置にする)
- 2 ①で決めた貼り付け位置の表面をサンドペーパーでこする(こすった後の粉をとる)
- 3 コードフックを貼り付ける
- 4 コードを配線する
- 5 カバー(結露防止カバー)、タンクふたを取り付ける

〈タンクふた固定仕様の場合〉

① 六角穴付きボルトをボルトガイドに押しつけ、タンクふたを載せる



② 六角穴付きボルトを締め付け、タンクふたに固定する

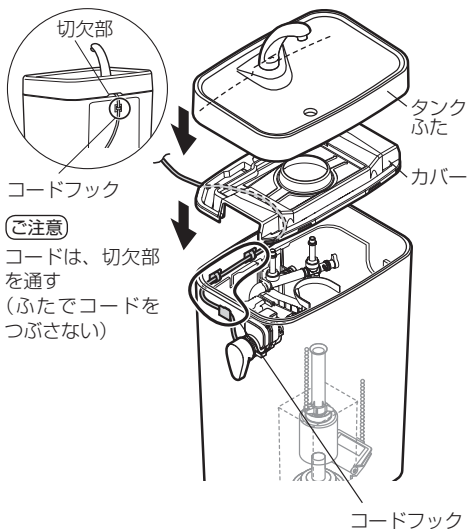


**注意**

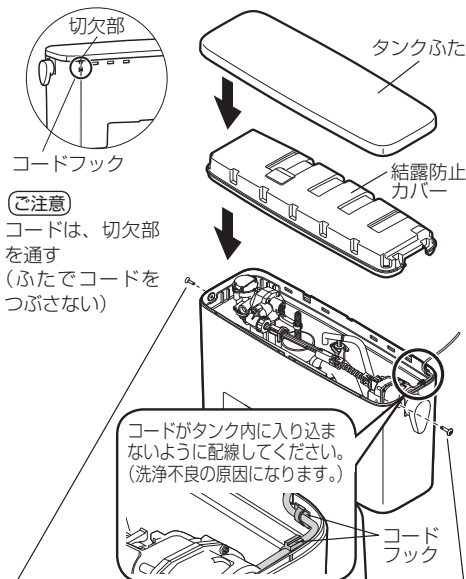
**注意**  
ねじの締め込み過ぎに注意する  
締め込み過ぎると、ロータンクやボルトが破損し、けがをすることがあります。

**注意**  
ボルトの締め付けは、両側均一になるように締め付けてください。片側だけを締め付けるとタンクふたがズレるおそれがあります。

施工タイプ **B**

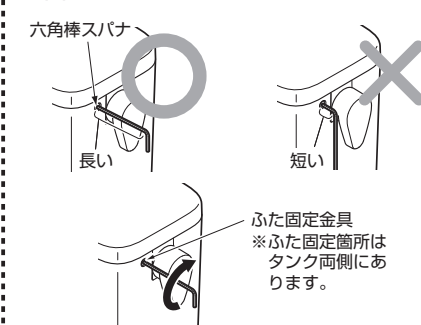


施工タイプ **C**



ふた固定ねじ

① ふた固定金具を締め付け、タンクふたを固定する



**注意**

**注意**  
ねじの締め込み過ぎに注意する  
締め込み過ぎると、フラッシュタンクやボルトが破損し、けがをすることがあります。

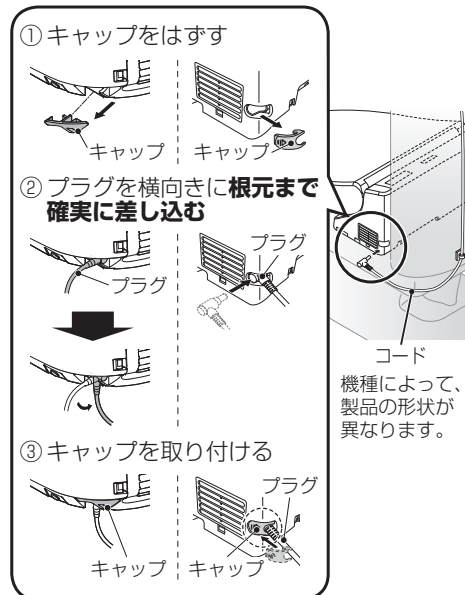
**注意**  
ボルトの締め付けは、両側均一になるように締め付けてください。片側だけを締め付けるとタンクふたがズレるおそれがあります。

プラグを接続する

6 ウォシュレット本体を施工する(ウォシュレット本体の施工説明書参照)

**重要** 手順 7 以降は、ウォシュレット本体施工後に行ってください。

7 プラグ(便器洗浄ユニット)を接続する  
コードは、ウォシュレットの着脱ができる余裕を設けてください。



8 ウォシュレットの電源プラグをコンセントに差し込む

**必ず便器洗浄モードを設定してください**  
機種によって、設定方法が異なります。



# 施工手順 5 便器洗浄モードを設定する

リモコンの場合

**ご注意**  
モード設定はウォシュレット本体を取り付け、電源を入れた後に行ってください。  
(ウォシュレット本体の電源が入っていないと設定を受け付けません。)

リモコンの場合  
リモコンの一部仕様を変更しております。  
設定する前に、別紙の説明書を確認してください。

**1** ウォシュレットの電源プラグをコンセントに差し込む  
→ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認する

設定が不要な施工タイプ  
**A・C**

設定が必要な施工タイプ  
**B**

**2** 止 と ビデ 10秒以上押す  
→リモコンまたは本体操作部のランプが全点滅します。

施工タイプ **A・C**  
試運転をする P.26へ

施工タイプ **B**

**3** 5秒以上押す  
もう一度 5秒以上押す

リモコンの場合

表示部  
運転 便座 温水 節電  
2回点滅  
3回点滅

本体の場合

表示部  
節電 ENERGY SAVER  
便座 SEAT  
温水 WATER  
運転 POWER  
2回点滅  
3回点滅

施工タイプ **B**

**4** 5秒以上押す → (電子音が3回鳴ると同時に表示部(便座)ランプが3回点滅することを確認する)

電子音とランプの点滅が上記でなかった場合は、設定が正しくできていません。  
手順③に戻り、設定しなおしてください。

手順③をくり返すたびにモードが切り替わる

「ピーッ」  
表示部が全ランプ1回点滅  
出荷時のモード

→

「ピーッ、ピーッ」  
表示部が2回点滅  
使用しません

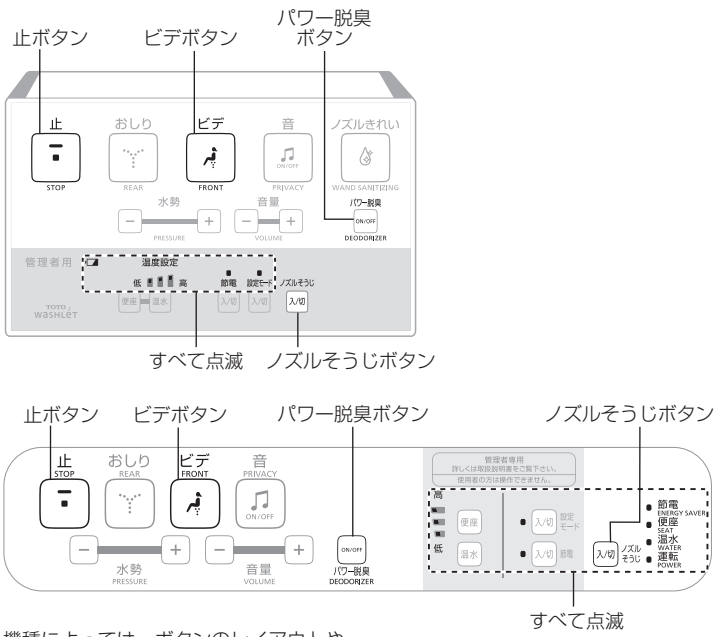
→

「ピーッ、ピーッ、ピーッ」  
表示部が3回点滅  
このモードに設定する

→

「ピーッ、ピーッ、ピーッ、ピーッ」  
表示部が4回点滅  
使用しません

**5** 止 押す → 設定完了



機種によっては、ボタンのレイアウトやデザインなどが異なります。

試運転をする P.26へ

# 施工手順 5 便器洗浄モードを設定する場合

**で注意**  
 モード設定はウォシュレット本体を取り付け、電源を入れた後に行ってください。  
 (ウォシュレット本体の電源が入っていないと設定を受け付けません。)

**1** ウォシュレットの電源プラグをコンセントに差し込む  
 →ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認する

設定が不要な  
 施工タイプ  
**A・C**

施工タイプ  
**A・C**

試運転をする  
 P.26へ

設定が必要な  
 施工タイプ  
**B**

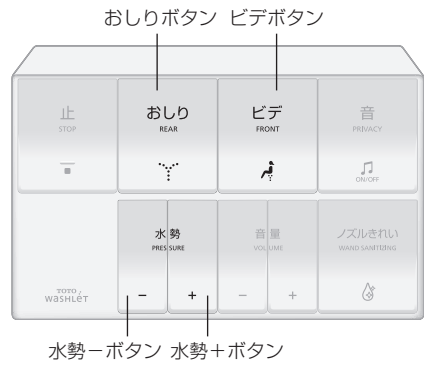
**2** ビデ 5回押す  
 →「ピッ」という電子音が鳴り、  
 <設定モード>※に入ります。  
 <設定モード>中は、20秒以内に  
 次のボタンを押してください。

施工タイプ  
**B**

**3** おしり → ビデ → 水勢 の順に押す  
 もう一度 ビデ 5回押す  
 →「ピッ」という電子音が鳴ります。  
 おしり → ビデ → 水勢 の順に押す

表示部  
 運転 便座 温水 節電  
 2回点滅

表示部  
 運転 便座 温水 節電  
 3回点滅



機種によっては、ボタンのレイアウトやリモコンのデザインなどが異なります。

設定完了できなかった場合は、手順②からやり直してください。  
 設定を途中でやめるときは、「止」ボタンを押してください。

※電子音が鳴らなかった場合は、リモコンとウォシュレット本体の組み合わせ設定がされていない可能性があります。ウォシュレット本体の施工説明書を見て、組み合わせ設定を行ってください。

施工タイプ **B**  
**設定位置を確認する**

**4** ビデ 5回押す →「ピッ」という電子音が鳴ります。  
**5** 水勢 → ビデ → おしり の順に押す → (電子音が3回鳴ると同時に表示部(便座)ランプが3回点滅することを確認する)

電子音とランプの点滅が上記でなかった場合は、設定が正しくできていません。  
 手順②③に戻り、設定しなおしてください。

手順②③をくり返すたびにモードが切り替わる

「ピッ」 表示部が 全ランプ1回点滅 出荷時のモード	→	「ピッ、ピッ」 表示部が 2回点滅 使用しません	→	「ピッ、ピッ、ピッ」 表示部が 3回点滅 このモードに 設定する	→	「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」 表示部が 4回点滅 使用しません
-------------------------------------	---	-----------------------------------	---	----------------------------------------------	---	-----------------------------------------

試運転をする  
 P.26へ

# 施工手順 5 便器洗浄モードを設定する

の場合

**で注意**  
 モード設定はウォシュレット本体を取り付け、電源を入れた後に行ってください。  
 (ウォシュレット本体の電源が入っていないと設定を受け付けません。)

**1** ウォシュレットの電源プラグをコンセントに差し込む  
 →ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認する

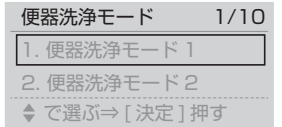
設定が不要な  
 施工タイプ  
**A・C**

施工タイプ  
**A・C**

試運転をする  
 P.26 へ

設定が必要な  
 施工タイプ  
**B**

**2** 止 10 秒以上押す  
 →リモコン表示部が下図のようになります。



施工タイプ  
**B**

**3** 上下で「便器洗浄モード3」を選び 決定 を押す  
 →ウォシュレット本体から電子音が1回鳴る

便器洗浄モード 3/10  
 2. 便器洗浄モード2  
 3. 便器洗浄モード3  
 上下で選ぶ⇒[決定]押す

便器洗浄モード3  
 に設定しました

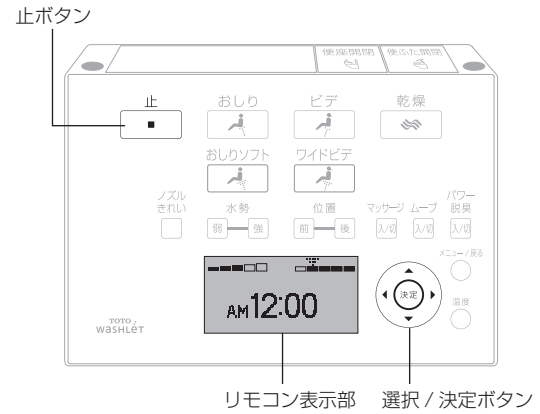
確認  
 決定後、下記表示になっているか確認してください。  
 3. 便器洗浄モード3

◀が表示されます。

**4** 止 押す → 設定完了

**5** 便器洗浄リモコンで作動を確認する  
 ※連続して押すと作動しません。約10秒たってからもう一度ボタンを押してください。  
 [大] → ハンドルが大側に回転する [小] → ハンドルが小側に回転する  
 ■正しく作動しない場合は、再度手順②から設定してください。

試運転をする  
 P.26 へ



機種によっては、ボタンのレイアウトやリモコンのデザインなどが異なります。

# 施工手順 6 試運転をする

## 施工全タイプ共通

ウォシュレットの電源プラグをコンセントに差し込んだ後、次の項目を確認し、にチェックを行ってください。



チェック



**1** ロータンクの止水栓を開ける

チェック



**2** 手で便器洗浄を確認する

ハンドルを「大側」・「小側」に回して、便器洗浄を行うことを確認する

チェック



**3** リモコンで便器洗浄を確認する

「大」・「小」のボタンを押す、またはセンサーに手をかざして便器洗浄を行うことを確認する

※連続して操作すると作動しません。

約 10 秒たってからもう一度ボタンを押す、またはセンサーに手をかざしてください。

[大] → ハンドルが大側に回転する

[小] → ハンドルが小側に回転する



※  の場合、[大]のみです。

便器洗浄が正しく行われないときは「うまく動かないとき」(P.27) をご覧ください。

試運転が終わりましたら、ウォシュレット本体の施工説明書に従って試運転を行ってください。

# うまく動かないとき

洗浄が正しく行われないときは、まずこのページの処置方法を試してください。それでも直らないときは、もう一度「施工の流れ」(P.2) を最初から確認してください。

こんなときは	ご確認ください	処置方法	
作動しない	モーター音がしない	 の場合 ●便器洗浄リモコンとウォシュレットとの組み合わせ設定を行っていますか？ →便器洗浄リモコン取付説明書をご確認ください。	便器洗浄リモコンとウォシュレットとの組み合わせ設定を行う →便器洗浄リモコン取付説明書をご確認ください。
		●便器洗浄ユニットのプラグが、ウォシュレットの接続口の根元まで確実に差し込まれていますか？	プラグを根元まで確実に押し込み、キャップを取り付ける
		●ウォシュレット本体の電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？	ウォシュレット本体の電源プラグをコンセントに差し込む
		 の場合 ●リモコンに電池は入っていますか？	リモコンに電池を正しく入れる
流れない	モーター音はする	●ストッパーの取付方向をまちがっていませんか？	ストッパーを正しく取り付ける
「大」「小」の動作が逆	●モード設定がまちがっていませんか？	モードを正しく設定しなおす	